

改革工程表2(年度別実行計画)

団体(会計)名及び部局・課名	医療大学付属病院特別会計	保健福祉部厚生総務課
改革遂行責任者	保健福祉部長・厚生総務課長 総務部長・財政課長	

改革方針	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
【1 付属病院の基本的方向の検討】 ○大学の付属施設としての機能強化及び県内リハビリテーション医療の中核的機能の充実を図る	第二期医療大改革プラン(H29～R8)の推進 法人化に向けた検討				
【2 アクションプランの推進】 ○大学と病院一体として効率的・効果的に運営していくとともに、アクションプランに基づく経営改善を推進しながら、収入を確保するとともに、経費節減に努め、収支の改善を図り繰入金を縮減していく。	第3次アクションプラン(H31～R3)の推進・進行管理 第3次プランの検証と第4次プランの策定 (フィードバック) 第4次アクションプランの(R4～R6)の推進・進行管理 繰入金の縮減				
【教育機能の充実】 教育研修体制の充実によりリハビリテーション専門医を養成するため専攻医(旧後期研修医)の受入れを拡大し、あわせて患者数の確保による経営改善を推進する。	(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す ・教育研修体制の充実 目標:専攻医の受入れ拡大(令和3年度までに4人) (目標)3人 [5人]		(第4次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す (目標)教育研修体制の更なる充実		
【政策的なリハビリテーション医療の推進】 365日リハビリテーションの維持向上により、リハビリテーション医療の充実を図る	(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す ・患者1人あたりのリハビリテーション実施単位数の向上 目標:回復期病棟における患者1人あたり実施単位数7単位 障害者等病棟における患者1人あたり実施単位数4.9単位 リハ実施単位数の向上(365リハによるリハ医療の向上) [回復期病棟(3A)6.90単位] [障害者等病棟(2A)5.03単位]		(第4次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す (目標)リハ実施単位数の更なる向上		
【経営改善の推進】 地域医療連携の充実強化を図り、急性期病院及び地域の医療機関等からの患者の確保に努める	(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す ・病床利用率の向上 目標:病床利用率(全体)85.5% (目標)85.5% [80.3%]		(第4次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す (目標)病床利用率の維持向上		
急性期病院との「脳卒中地域連携パス」の運用、急性期病院への空床情報の提供、急性期病院及び地域の医療機関との意見交換					

※ ⇔ は改革期間及び推進事項を表示
 ※ []は目標達成状況、【 】修正後の目標を表示

※ ⇨ は改革期間及び推進事項の修正

改革工程表2(年度別実行計画)

団体(会計)名及び部局・課名	医療大学付属病院特別会計	保健福祉部厚生総務課
改革遂行責任者	保健福祉部長・厚生総務課長 総務部長・財政課長	

改革方針	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
【1 付属病院の基本的方向の検討】 ○大学の付属施設としての機能強化及び県内リハビリテーション医療の中核的機能の充実を図る	第二期医療大改革プランの策定 ・ワーキングによる課題抽出 ・外部有識者による検討		第二期医療大改革プラン(H29～R8)の推進		
		(フィードバック)			
【2 アクションプランの推進】 ○大学と病院一体として効率的・効果的に運営していくとともに、アクションプランに基づく経営改善を推進しながら、収入を確保するとともに、経費節減に努め収支の改善を図り繰入金を縮減していく	第2次アクションプラン改訂版(H26～H30)の検証		第3次アクションプランの策定		第3次アクションプラン(H31～R3)の推進・進行管理
	繰入金の縮減				
【教育研究機能の充実】 臨床教育講師を中心とした実習システムの充実を図る	(第2次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す ・臨床実習体制の強化				(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す
	目標: 臨床教育講師数(平成30年度までに42人)				
	(目標)38人 [40人]	(目標)41人 [43人]	臨床教育講師数の維持向上 [55人]	臨床教育講師数の維持向上 (目標)65人 [56人]	目標: 臨床教育講師数の維持向上 【令和3年度までに56人】
【政策的なリハビリテーション医療の推進】 平成26年10月から回復期病棟において開始した365日リハビリテーションにより、リハビリテーション医療の充実を図る	(第2次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す ・回復期病棟における患者1人あたりのリハビリテーション実施単位数の向上				(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す
	目標: 回復期病棟における患者1人あたり実施単位数7単位 リハ実施単位数の向上(365リハによるリハ医療の向上)				
	[6.59単位]	[6.81単位]	[6.78単位]	[7.40単位]	
【経営改善の推進】 地域医療連携部をより一層強化し、急性期病院からの患者の確保に努める	(第2次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す ・病床利用率の向上				(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す
	目標: 病床利用率(全体)85%				
	(目標)84% [84.8%]	[82.7%]	[85.1%]	[83.5%]	(目標)病床利用率(全体) 85.5%
	「脳卒中地域連携パス」の運用、連携病院との意見交換会、急性期病院への空床情報の提供				

※ (←→) は改革期間及び推進事項を表示

※ (⇄) は改革期間及び推進事項の修正

※ [] は目標達成状況, 【 】 修正後の目標を表示